

2003年2月27日

関係者各位

防水型ネズミモニタリング容器

チェック・ボックス効果検証試験

〔結 果〕

本件試験の結果、チェック・ボックスにおいては、設置後クマネズミが警戒心を解くまでに時間（約2週間が目安）がかかることが確認されました。

試験1：侵入確認試験A「チェックボックス内に餌の無い条件」

【目的】

ネズミ行動観察室内厨房スペースにおいてチェックボックス内にネズミが侵入するか否か、又、どのくらいの期間で侵入するかを試験する。

【試験概要】

- 試験検体：チェック・ボックス
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

【試験手順】

- ①厨房スペース餌場D（右図参照）付近にチェックボックス（餌を中に入れていない状態）を設置した。
 - ②24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを3日連続で行った。
- ※状況に応じて消灯後9時間のビデオ撮影を行いました。

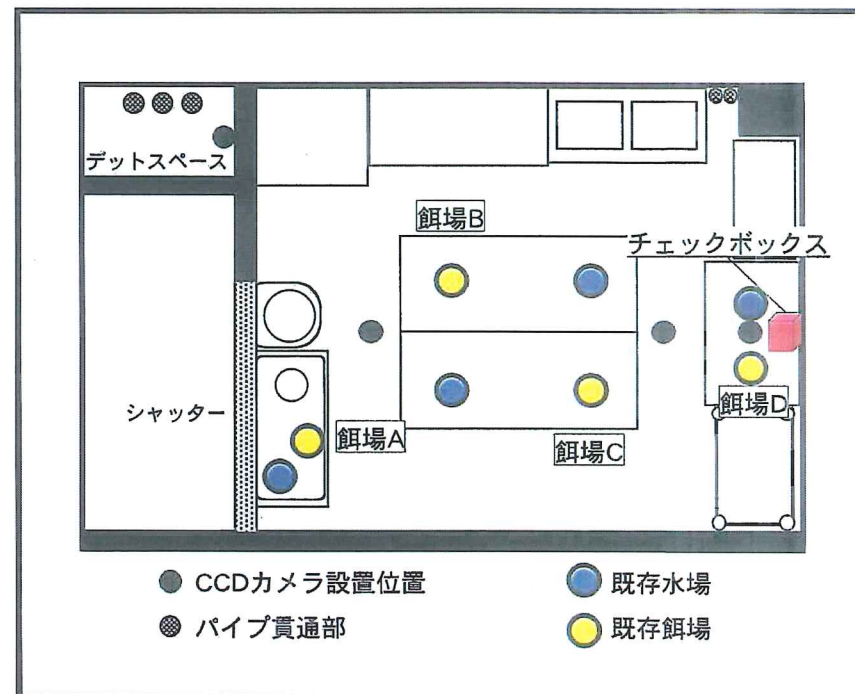


PHOTO①：
チェック・ボックス全景



PHOTO②：行動観察室内配置（設置前）

- 餌場A：シャッター前作業台上
- 餌場B：中央作業台入口側上
- 餌場C：中央作業台奥側上
- 餌場D：コールドテーブル上



試験概略図

チェックボックス内に餌を入れていない状態での侵入確認試験の結果、3日間の観察期間では、チェックボックスへのネズミの侵入は確認されませんでした。

※続いて、チェックボックス内に餌を設置した条件での行動観察を行いました。

試験2：侵入確認試験B「内部餌設置条件」

【目的】

ネズミ行動観察室内厨房スペースでチェックボックス内に餌（配合飼料）を入れた状態での侵入状況を把握する。

【試験概要】

- 試験検体：チェック・ボックス
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

【試験手順】

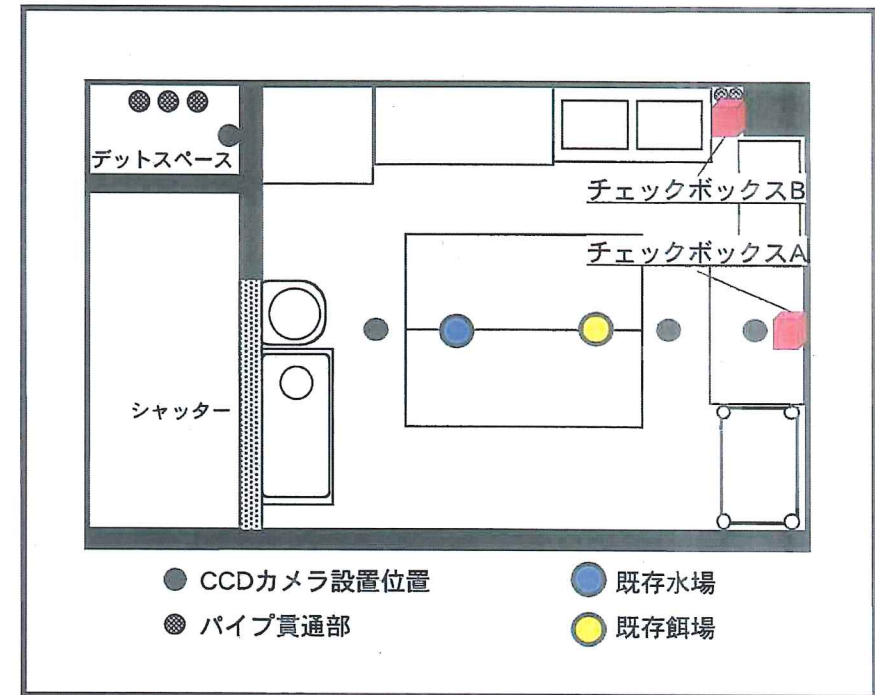
- ①餌場及び水場を中央作業台上の各1箇所とした。
 - ②厨房スペースのコールドテーブル上に餌を入れたチェックボックス(A)を設置した。（右図参照）
 - ③24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを2日連続で行った。
 - ④続いて、メイン通路のパイプ下にチェックボックス(B)を設置した。
 - ⑤24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを7日連続で行った。
- ※状況に応じて消灯後9時間のビデオ撮影を行いました。



PHOTO①：チェックボックス設置状況

A：コールドテーブル上

B：パイプ下



試験概略図

チェックボックス内に餌を入れた状態での侵入確認試験の結果、いずれの設置場所においても、ネズミの侵入痕跡は確認されませんでした。

※続いて、チェックボックス内に誘引餌（チュー食ですよ）を設置した条件での行動観察を行いました。

試験3：侵入確認試験C「内部誘引餌（チュー食ですよ）設置条件」

【目的】

ネズミ行動観察室内厨房スペースで、チェックボックス内に誘引餌（チェックパウダー）を入れた状態での侵入状況を把握する。

【試験概要】

- 試験検体：チェック・ボックス
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

【試験手順】

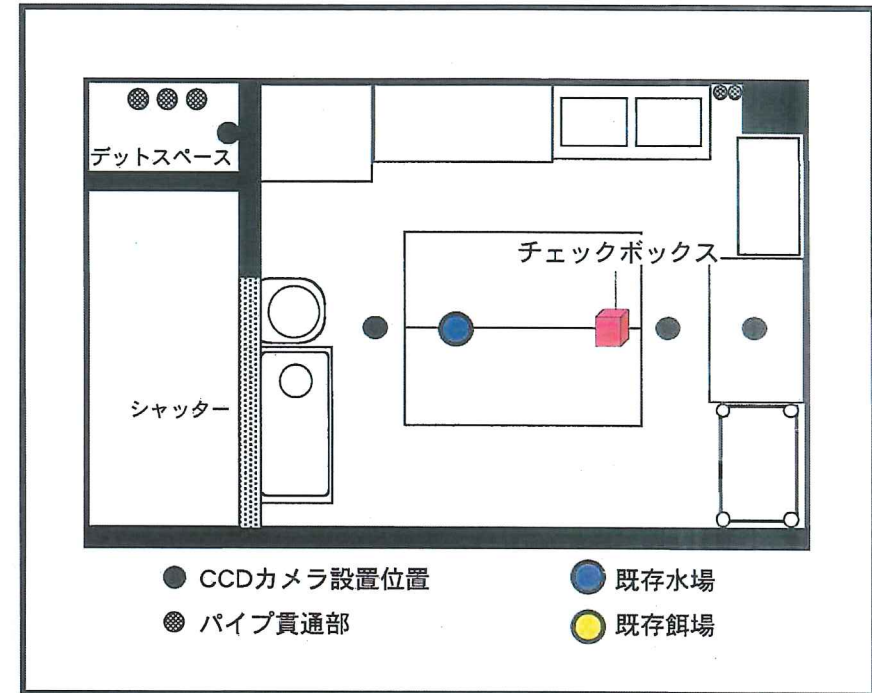
- ①餌場を全て撤去した状態で、チェックボックス内にチュー食ですよを入れた条件で中央作業台上に設置した。
- ②24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを2日連続で行った。
※状況に応じて消灯後9時間のビデオ撮影を行いました。



PHOTO①：チェックボックス内部



PHOTO②：チェックボックス設置状況



試験概略図

チェックボックス内に誘引餌を入れた状態での侵入確認試験の結果、チェックボックス内にネズミの侵入痕跡は確認されませんでした。他の場所に餌を設置しておらず、ネズミが絶食状態であったため、本条件は2日間で終了とした。

※続いて、定点で長く設置した条件での行動観察を行いました。

試験4：侵入確認試験D「定点長期設置条件」

【目的】

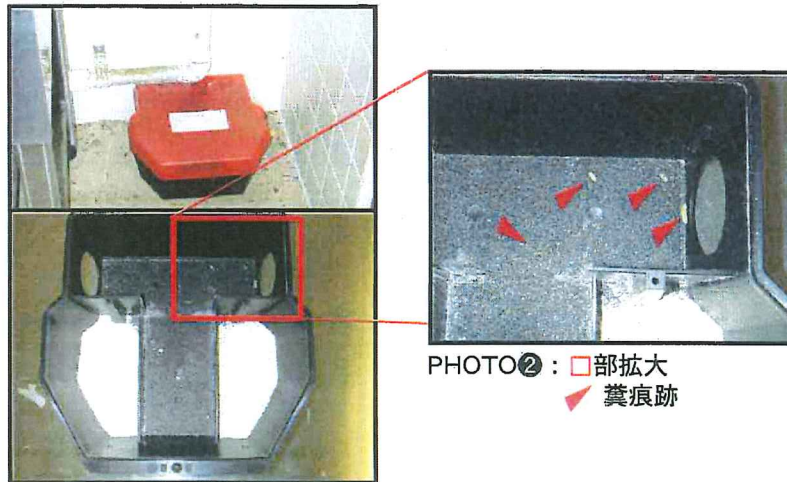
ネズミ行動観察室内厨房スペースにおいて、チェックボックス内に誘引餌を入れた状態で定点で、長期間設置条件の侵入状況を確認する。

【試験概要】

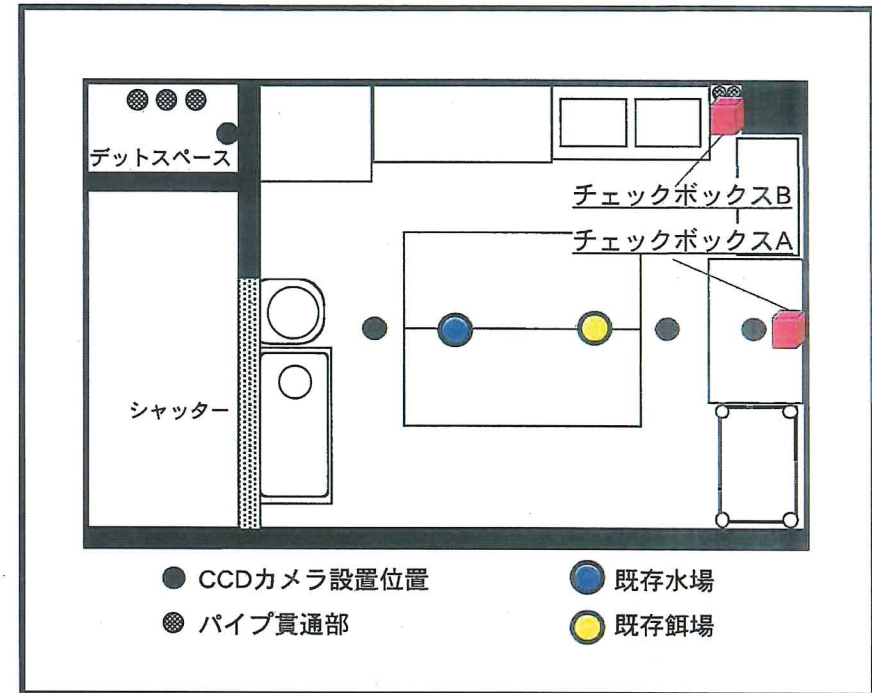
- 試験検体：チェック・ボックス
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

【試験手順】

- ①餌場及び水場を中央作業台上の各1箇所とした。
 - ②厨房スペースのコールドテーブル上に、チェックボックス(A)を設置した。
 - ③24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを14日連続で行った。
 - ④続いて、メイン通路のパイプ下にチェックボックス(B)を設置した。
 - ⑤24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを14日連続で行った。
- ※状況に応じて消灯後9時間のビデオ撮影を行いました。



PHOTO①：侵入痕跡



試験概略図

本件試験の結果、コールドテーブル上では明確な侵入痕跡は確認されませんでした。その後、メイン通路のパイプ下に設置した条件では、設置後10日目で糞の痕跡が1個確認されました。続いて、12日目で累計3個、14日目で累計4個の糞の痕跡が確認されました。

試験5：補足試験「チェックパウダー入りパイプ設置条件」

【目的】

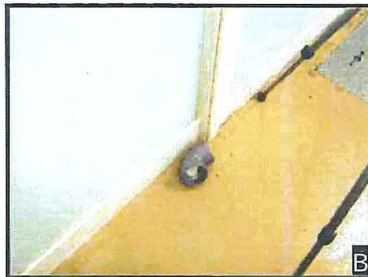
ネズミ行動観察室内厨房スペースにおいてパイプに誘引餌を入れた状態で定点で長期間設置条件で侵入状況を確認する。

【試験概要】

- 試験検体：チェック・ボックス
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

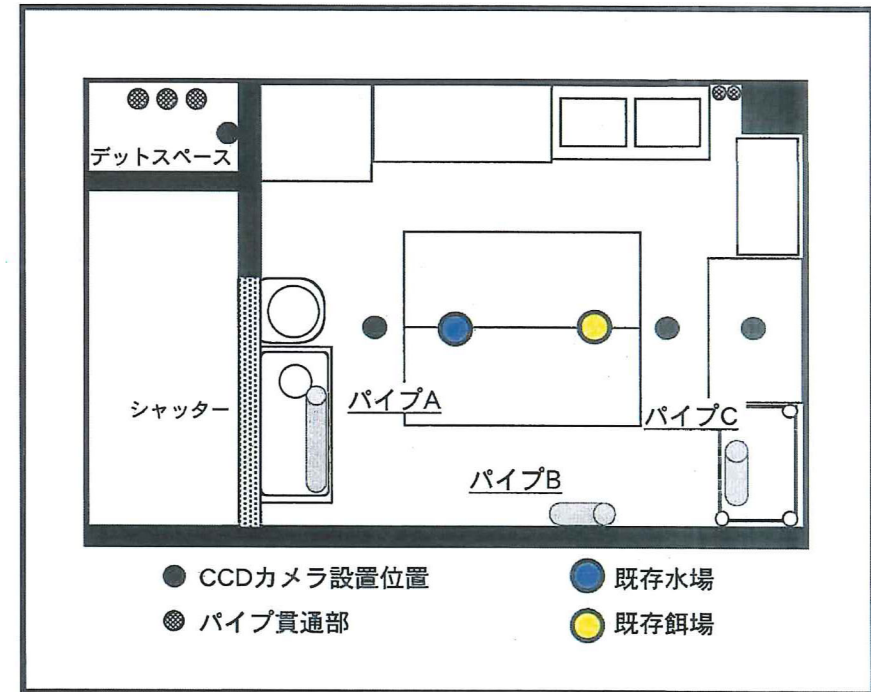
【試験手順】

- ①餌場及び水場を中央作業台上の各1箇所とした。
- ②厨房スペースの3箇所チェックパウダー入りパイプを設置した。
（右図参照）
- ③24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを30日連続で行った。
※本試験は、チェックボックス侵入確認試験C以降に並行して行いました。



PHOTO①：設置状況

- A：シャッター前作業台上
B：床面上
C：移動台上



試験概略図

本件試験の結果、約2週間経過後より侵入痕跡が確認された。また、約1ヶ月後では、パイプAで昼間の定着が確認された。



PHOTO②：定着したネズミ

まとめ

試験	試験1	試験2		試験3	試験4	
設置場所	コールド テーブル上	コールド テーブル上	パイプ下	中央作業台上	コールド テーブル上	パイプ下
設置期間	3日	2日	7日	2日	14日	14日
餌場	4箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所	1箇所
C. B. 内部設定	餌無	配合飼料設置	チェックパウダー 設置	チェックパウダー 設置	チェックパウダー 設置	チェックパウダー 設置
侵入痕跡	×	×	×	×	×	○ (10日目～糞痕跡)

2003年3月8日

関係者各位

防水型ネズミモニタリング容器

チェック・ボックス効果検証試験

—捕殺結果—

〔結 果〕

本件試験の結果、チェックボックスの慣らしが終了した後、捕殺器設置後5日でクマネズミ1頭の捕殺が確認されました。

試験：捕殺効果確認試験「内部捕殺器設置条件」

【目的】

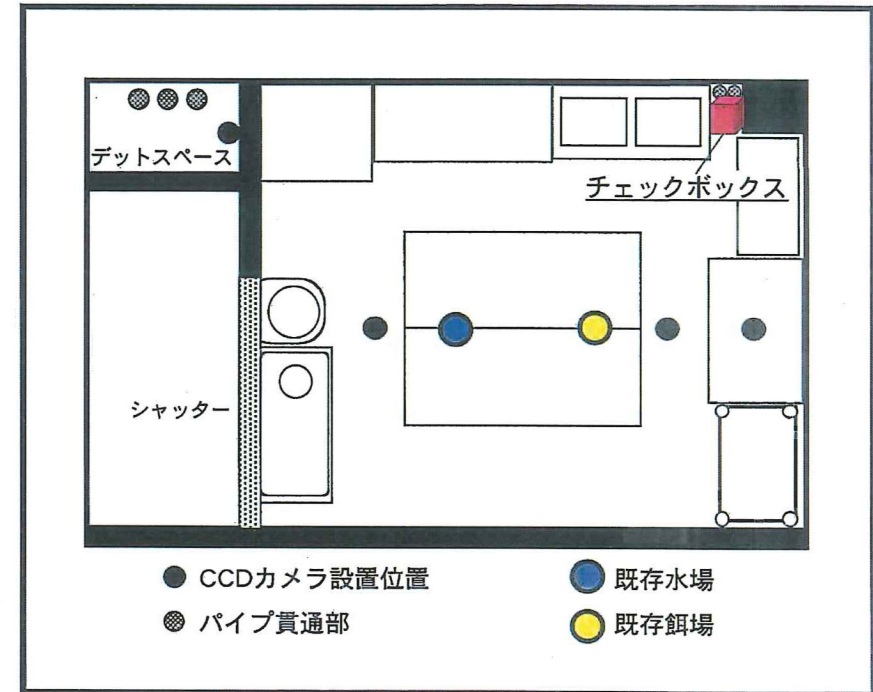
ネズミ行動観察室内厨房スペースでチェックボックス内に捕殺器を入れた状態での侵入状況及び捕殺効果を把握する。

【試験概要】

- 試験検体：チェック・ボックス
- 内部条件：捕殺器、誘引餌（チェックパウダー）
- 対象生物：クマネズミ（約10頭）
- 試験空間概要：ネズミ行動観察室内厨房スペース（4.5×3×2.3m）
- 環境条件：温度27℃／湿度55%

【試験手順】

- ①餌場及び水場を中央作業台上の各1箇所とした。
- ②メイン通路のパイプ下に、内部条件を設定したチェックボックスを設置した。（右図参照）
- ③24時間後毎に侵入痕跡の観察を行った。これを10日連続で行った。
※状況に応じて消灯後9時間のビデオ撮影を行いました。



試験概略図



PHOTO①：内部条件



PHOTO②：チェックボックス設置状況



PHOTO③：捕殺状況（遠景）



PHOTO④：捕殺状況（近景）



PHOTO⑤：捕殺状況（側面）

本件試験の結果、開始後2日目、4日目に侵入痕跡（糞）が確認され、開始後5日目で捕殺されたクマネズミが確認された。死鼠を取り除いた後、継続して設置しているが、侵入痕跡は2日に1回の割合で確認されるものの、捕殺個体は確認されていない。